

下水道小委員会報告
「新しい時代における下水道のあり方について（仮称）」骨子案

1．はじめに

2．基本的課題

(1) 下水道整備の現状

(2) 社会状況の変化

- ・ 人口減少・少子高齢化社会の進展
- ・ 浸水、地震等の災害の頻発
- ・ 水質改善の遅延、都市の水に係わる諸問題の発生
- ・ 資源・エネルギー問題、地球環境問題の深刻化
- ・ 地域の活力維持への懸念

(3) 下水道における状況の変化

- ・ 財政状況の悪化
- ・ 下水道ストックの増大

3．これからの下水道政策の基本的考え方

(1) これからの下水道の役割

安全で健康な暮らしの実現

良好な環境の創造

快適で活力ある暮らしの実現

(2) 役割実現に向けた政策展開の基本的考え方

関係者の役割と協働

対応方策の総合化

住民との合意形成

事業の継続性

4．整備目標の考え方

「安全で健康な暮らしの実現」、「良好な環境の創造」、「快適で活力ある暮らしの実現」の役割ごとに、対策を体系化し、整備目標を次回提示。

5．講ずべき下水道施策

(1) 基本的方向

投資の重点化、効率化

地域特性の重視

計画的な事業推進

(2) 具体的施策

「安全で健康な暮らしの実現」、「良好な環境の創造」、「快適で活力ある暮らしの実現」及び「下水道施設の管理と下水道経営」の分野ごとに整理して、次回提示。

以上